



投信の窓口  
TOSHIN NO MADOGUCHI



東海東京フィナンシャルグループ

高木証券

平成 30 年 2 月 27 日

各 位

高木証券株式会社  
代表取締役社長 飯田 弘二  
大阪市北区梅田一丁目 3 番 1-400 号

## 大正銀行との業務委託契約に関するお知らせ ～銀行で初めて「投信の窓口」サービスを提供～

当社は、トモニホールディングスグループの株式会社大正銀行（本店所在地：大阪市中央区、取締役頭取：吉田雅昭、以下「大正銀行」）と業務委託契約を締結し、2018年3月5日より、大正銀行の本店営業部（大阪市中央区）および京都支店（京都市下京区）において、当社の「投信の窓口」のサービス提供を開始いたします。

### ■業界唯一の投資信託専門サービス、「投信の窓口」

「投信の窓口」は、対面証券 No.1<sup>\*1</sup>の投資信託の品揃えを有する当社が展開する、業界唯一の投資信託専門の相談サービスです。2015年11月にスタートし、現在までに3店舗の来店型相談店舗と、インターネット（ウェブ支店）での運用相談サービスを展開しています。金融分野におけるIT技術の進展を踏まえた、「FinTech」と「ヒト」を組み合わせた“ハイブリッド型”のサービスです。<sup>\*1</sup>取扱本数 1,849本（2018年2月20日時点）

※「投信の窓口」URL：<https://toushin-no-madoguchi.jp/index.html>

### ■独自の評価・分析ツール『ファンド・ラボ』で、公平・中立に診断

「投信の窓口」では、“くらべる。選べる。納得できる。”をコンセプトに、投資信託の専門家である「コンシェルジュ」が、独自開発した評価・分析ツール<sup>\*2</sup>『ファンド・ラボ』による公平・中立な診断により、お客様にとって最適と考えられる投資信託の組み合わせをご提案します。お客様が納得感をもって投資信託を購入することができ、購入後のフォローまで「ワンストップ」でサービスをご提供します。<sup>\*2</sup>登録数 国内籍公募追加型株式投信 4,610本（2018年2月20日時点）

※『ファンド・ラボ』URL：<https://www.takagi-sec.co.jp/service/fundlab/>

### ■銀行で初めてのサービス提供

当社は、「投信の窓口」のサービスを上記直営3店舗およびウェブ支店で提供しておりますが、昨年来、より多くのお客様にサービスをご提供できるよう、各地域に強固な顧客基盤を有する地域金融機関との協業を検討してまいりました。このたび、第一号案件として大正銀行との業務委託契約の締結にいたしました。

当該契約に基づき、当社は、大正銀行へ、口座開設の勧誘、投資信託の募集の取扱いおよび顧客紹介等を委託し、大正銀行が設置する相談ブースにおいて、インターネットを介した「投信の窓口」のサービスをご提供します。当社の豊富な投資信託の品揃えへのアクセスと、『ファンド・ラボ』を活用したコンサルティング・サービスを可能にすることで、大正銀行がお客様本位のより良い業務運営を実現する一助になるものと考えています。

本件に関するお問い合わせは、総合企画部 03-3281-3236 までお願いします。

【ご参考】

◇大正銀行の会社概要

平成 29 年 3 月 31 日現在

(1) 商号・代表者	株式会社大正銀行 取締役頭取 吉田 雅昭
(2) 設立	大正 11 年（1922 年）4 月 23 日
(3) 本店所在地	大阪府中央区今橋二丁目 5 番 8 号
(4) 資本金	26 億円
(5) 株主	トモニホールディングス株式会社* 100%
(6) 預金量	4,421 億円
(7) 登録金融機関 登録番号	近畿財務局長（登金）第 19 号

\* トモニホールディングス株式会社は、大正銀行、徳島銀行、香川銀行をグループ傘下とし、合わせて 3.2 兆円の預金量を有する、東証一部上場（証券コード 8600）の銀行グループです。

◇評価・分析ツール『ファンド・ラボ』を使った「投信の窓口」のサービスの特色



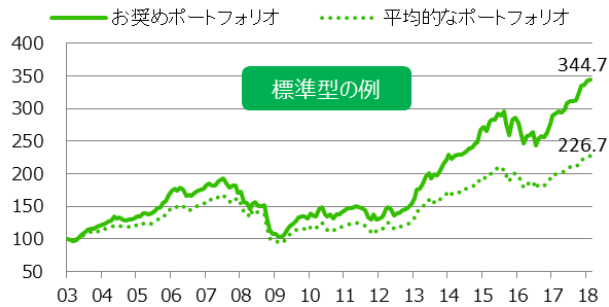
投資信託の専門家  
でお客さまの相談相  
手となります  
コンシェルジュ

独自の投資信託の評価・分析ツールである『ファンド・ラボ』は「運用成果」、「分配金の魅力」など7つの項目を客観的な数値に基づき5つ星で評価します。コンシェルジュは、『ファンド・ラボ』を使用し、対面販売最多を誇る取扱い本数の中から、運用実績の優れた投資信託の組み合わせによる国際分散投資をご提案します。

ポイント 1

お客様に合った最適な資産運用プランが見つかります。

低リスク・低リターンから高いリスク・高いリターンまで6タイプで国際分散投資を長期で行う資産運用プランをご提案します。



(注)「お奨めポートフォリオ」は、高木証券ファンド・リサーチセンターで運用実績が優秀と評価している投資信託を一定の割合で分散投資した場合のリターンを示している。一部の投資信託で運用実績が2003年まで遡れない場合、その期間は他の銘柄で補充している。「平均的なポートフォリオ」は、国内公募株式投信を資産ごとに分類し、分類ごとのリターンの平均値を使用してシミュレーションした運用結果を示している。いずれも2002年12月末から2018年1月末まで。(出所) 株式会社QUICKより高木証券ファンド・リサーチセンター作成。

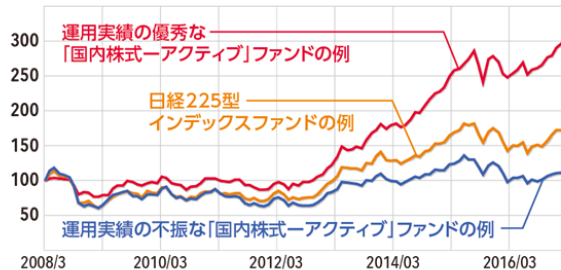
	堅実型	安定型	やや安定型	標準型	やや積極型	積極型
期待リターン	1.98%	2.93%	3.91%	5.17%	6.02%	7.03%
リスク(標準偏差)	3.80%	5.59%	7.76%	10.69%	12.72%	15.20%

ポイント 2

運用成果の高い投資信託が選べます。

選ぶ投資信託によって運用成果に大きな差がでます。

「国内株式—アクティブ」カテゴリーに属するファンドの運用実績例



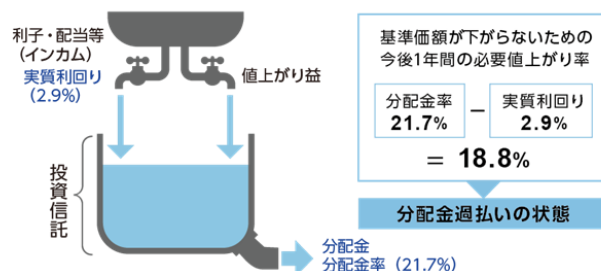
2008年3月～2017年2月末のデータで作成

ポイント 3

他社では分かりにくい分配金の仕組みが分かります。

分配金はファンドの運用収益に見合った金額でないと、基準価額が下がり、結果としてマイナスになってしまう可能性があります。その分析結果をわかりやすく評価します。

例：海外REIT Aファンドの場合



以上

投資信託は、主に国内外の株式や債券を投資対象としているため、基準価額は組み入れた株式や債券の動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。投資信託はファンドごとに設定された購入時手数料(最大4.32%〔税込〕)をご負担いただきます。投資信託を保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、ファンドごとに設定された運用管理費等(信託報酬等)のほか、運用成績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。また、換金時に信託財産留保額等が基準価額から差引かれる場合があります。当社で取り扱う商品等へのご投資は、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読みの上、ご自身でご判断ください。

商号等：高木証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号 加入協会：日本証券業協会

本件に関するお問い合わせは、総合企画部 03-3281-3236 までお願いします。